

# IV 沖縄県で用いられているカツオ餌料魚に関連する 試験研究報告(抜萃又は全文)

## 1 採捕用漁具漁法

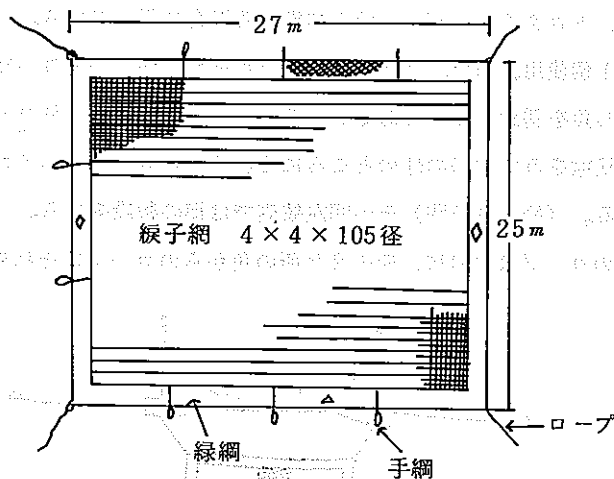
### (1) 四艘張網

鰹釣漁業の餌取用網として使用されてる。この四艘張網は魚種とか漁場とかによつて漁法をかえて使用している。即ち(1)追込式の場合と(2)火光利用の場合とが行われている。

#### 漁具構造の大略

##### 1) 追込式で操業する場合

12~13日と27~28日ごろの朝の干潮の時刻本船とくり舟2隻で網を敷設し、網の四辺の緑を本船に、他の2ヶ所の角からは、くり舟にロープをとり網をすぐ引き揚げられるように準備する。



四艘張網

#### 漁具資材

- 縵子網 綿 4×4×105径 51枚
- 緑網 綿 20木合×25寸目  
60掛目
- あば網 クレモナ 450本
- 手網 " "
- ロープ (2~3分) 1巻
- 浮子・沈子
- 出来上り 25m×27m
- 縮結 40%

追込用のシルヂーカーを1本づつもって追込漁夫20人程度で遠方から魚の群を威嚇して網上駆集させて、網を引揚げる趣向である。沈子は潮の流れの速い時には取りつけない。漁場は伊平屋島周辺とくに島尻と田名の地先と伊是名村の屋那覇島の外側のリーフ外縁一帯、魚種はバカジヤコ、サネラー、ヒチャー等が主。